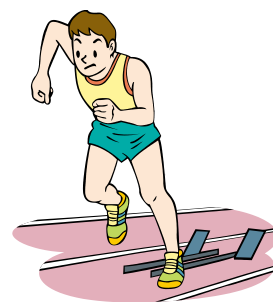




## 故障と苦しみを乗り越えた先に

6月6日(日)に鳥取市で行われた布勢スプリント男子100mで、山縣亮太選手が、それまでの記録を0秒02更新する9秒95の日本新記録を出したことは、皆さん知っていると思います。これで、9秒台を記録した日本選手は4人となり、今月24日(木)から行われる日本選手権においてのオリンピック代表選考が、ますます楽しみになってきました。

ところで、この山縣選手ですが、決して順風満帆な競技人生ではありませんでした。2012年の織田記念陸上で、当時日本歴代5位の10秒08を出し、ロンドンオリンピックの予選では、10秒07の自己新を出して準決勝進出を果たしました。そして、2017年、2018年と続けて10秒00をマークし、9秒台はすぐそこだと思われました。しかし、その後、肺気胸という病気になったり、右足首の靭帯断裂や膝をけがしたりするなど、病気やけがに悩まされる日々が続きました。その間に、ライバル3人が9秒台をマークし、取り残される形になってしまいました。「俺、続けられないかもしれないな。」と思ったこともあったと言います。それでも、山縣選手は目標を見失うことなく、懸命に努力しました。また、それまで一人で走り追求していたやり方をやめ、高野大樹というコーチに指導を依頼し、新しく取り組み始め、今回の日本新記録につながったのです。ちなみに、レース後の会見の中では、「最後の部分は足が後ろに持っていかれる感じでフワフワしていたので、まだ練習不足だと思う。」と語ったそうです。



この山縣選手の姿から、私たちが学べるものは何でしょうか？感じるものは、一人一人違うと思いますが、ぜひ、自分の生活に生かせるものを見つけてほしいと思います。

## お知らせ

7月1日(木)より、授業時間を5分短縮した45分授業を開始します。これは、例年行っていることですが、暑さの中での体調管理や授業における集中力維持のためです。先生方もそれに合わせて内容を精選して授業を行いますので、生徒の皆さんは、これまで以上に集中して授業を受けてください。居眠りなどは言語道断！自分の進路の幅を狭くするようなことにならないよう、しっかり頑張りましょう。

また、短縮授業になる分、部活動の時間が、これまでより長くなる場合があります。適切な水分補給や休憩を取りながら行いますが、一人一人が体調管理に努め、「ちょっと変だな。」と思ったら、決して無理はせず、すぐに顧問の先生に申し出てください。運動部、文化部を問わず、よろしくお願いします。

## <三中生のちょっといい話>

地区総体のスタートとして、12日(土)に、観音寺市総合運動公園において陸上競技の地区総体が行われました。男子は総合優勝、女子は総合第3位といずれも大健闘でした。特に男子は、トラックの部、フィールドの部ともに第1位で、総合第2位の学校に30点以上の差をつける、いわゆる完全優勝でした。

「陸上競技は個人競技だが、陸上部はチームである。」これは、私が若かった頃、陸上部の顧問をしていて先輩の先生に言われた言葉です。今の三中陸上部は、まさにチームとして競技に挑んでくれていると思います。地区総体の時も、審判をしながら見ていると、一人一人が一生懸命競技に取り組んでいたことはもちろんですが、感染対策などのマナーを守っての応援や補助員の仕事など、チームの一員としての自覚を持って参加してくれていた様子がよく分かりました。このことが、好結果に結びついたのだと思います。

7月3日(土)からは、他の競技も地区総体が始まります。先週の金曜日には、抽選会も行われました。いよいよですね。特に3年生は、最後の夏です。具体的な目標を持って、これまでのすべてをぶつけて、悔いのない大会にしてください。保護者の皆様、ご支援、よろしくお願いいたします。なお、地区総体は、県総体同様、原則無観客で行いますが、詳細は競技部ごとに決定しますので、顧問やお子様にご確認ください。